

投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 阪本 哲 (林 任輝)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約2.8 億円
		通常砂防事業 のまだに 野間谷川		内用地補償費	約0.1 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
美方郡 美方町 <small>のまだに</small> 野間谷			16年度	16年度	20年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、流域の荒廃が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、堰堤工を設置して地域住民の人命、財産及び町道、災害時の指定避難場所である熱田集会所、野間谷集会所を保全する。	・砂防堰堤工 2基 (H = 10.0m , L = 70.0m) (H = 9.0m , L = 100.0m)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全・安心	<ul style="list-style-type: none"> 野間谷川は土石流危険渓流である。 渓流の浸食が進むなど流域内も広範囲に荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 保全対象: 人家 = 21戸、公共施設 = 町道、熱田集会所、野間谷集会所 (いずれも地区避難場所)
地域の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 砂防堰堤工事により土砂災害の危険性が軽減され、下流域の有効な土地利用が図れるようになる。
快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> 堰堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 豪雪地帯対策特別指定地域、山村振興指定地域及び過疎対策法対象町に該当し、堰堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	<ul style="list-style-type: none"> 人命・財産(人家21戸)及び町道、熱田集会所、野間谷集会所(いずれも指定避難場所)が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 町等の協力体制が整っており、円滑な事業執行が可能である
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> 事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> 土石流の想定被害区域には人家21戸、町道、熱田集会所、野間谷集会所(いずれも指定避難場所)がある。 流域の荒廃が激しく進み、土砂流出の危険性が高く、野間谷地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。